

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 9 月 26 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・9/23 16:53 第二セシウム吸着装置(A系、B系ライン)を起動。17:03 安定流量に到達(約 40m³/h)。
- ・9/24 20:30 頃 第二セシウム吸着装置が自動停止。
- ・9/25 17:02 調査の結果、第二セシウム吸着装置の弁駆動用空気等を供給しているコンプレッサ-の故障により入口弁が閉じたことから同装置が停止したことが判明。同コンプレッサ-を交換し、同装置を再起動。17:05 定常流量に到達。

[貯蔵設備]

- ・6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機トレンチ立坑 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・9/13 9:51 ~ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・9/15 9:54 ~ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・9/26 10:00 ~ 移送実施中

移送先	移送先の水位状況 (9/26 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 4,564mm(水位上昇累計:5,781mm) 9/25 7:00 から 20 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,539mm(水位上昇累計:3,265mm) 9/25 7:00 から 114 mm 上昇

トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (9/26 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850 mm (9/25 7:00 と同じ)	O.P.+ 5,063 mm (9/25 7:00 から 32 mm 下降)	O.P.+5,116 mm (9/25 7:00 から 21 mm 下降)
2号機	O.P.+ 2,781 mm (9/25 7:00 から 7 mm 上昇)	O.P.+ 2,835 mm (9/25 7:00 から 4 mm 上昇)	O.P.+ 2,894 mm (9/25 7:00 から 1 mm 上昇)
3号機	O.P.+ 3,281mm (9/25 7:00 から 2 mm 下降)	O.P.+ 3,058 mm (9/25 7:00 から 3 mm 下降)	O.P.+ 3,169 mm (9/25 7:00 から 2 mm 上昇)
4号機	-	O.P.+ 3,101 mm (9/25 7:00 から 6 mm 下降)	O.P.+ 3,115 mm (9/25 7:00 から 変化なし)

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値)

・9/25 に採取した福島県沿岸4地点、沖合8地点の主要3核種(ヨウ素-131,セシウム-134,137)は全てND。

<使用済燃料プールの冷却> (9/26 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	25.0
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	27.0
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	26.4
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	35

[4号機]・8/20~ 使用済燃料プール塩分除去装置の運転を開始。

<原子炉圧力容器への注入・原子炉の状況> (9/26 11:00 時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉圧力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中(約3.6m ³ /h)	76.1	78.1	123.9 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約3.8m ³ /h, 炉心スプレイ系:約5.1m ³ /h)	95.1	104.0	109 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.7m ³ /h, 炉心スプレイ系:約7.9m ³ /h)	76.5	81.5	101.5 kPaabs

[2号機]・9/26 15:05 原子炉への炉心スプレイ系からの注水量を約5.0m³/h 約6.0m³/hに調整。
給水系からの注水量は約3.8m³/hで継続中。

[4号機][5号機][6号機] 特に変化なし。

<その他>

- ・4/10~ 作業環境改善として遠隔操作による屋外の瓦礫撤去を継続実施中。
- ・6/3~ 港湾関連施設の復旧工事を実施中。
- ・7/12~ 取水路開渠内の止水対策として鋼管矢板等の設置工事を実施中。
- ・6/28~ 1号機原子炉建屋カバー設置に向けた本体工事实施中。
- 8/10~9/9 1号機原子炉建屋カバー鉄骨組立を実施。
- 9/10~ 1号機原子炉建屋カバーのパネルの取付を実施中。
- ・9/26 9:45~10:42 5号機残留熱除去海水ポンプ(D)出口弁の修理のため、同海水系について、B系(本設)からA系(仮設)へ切替を実施。
- ・9/26 11:05 頃 協力企業作業員1名が発電所敷地内(屋外)にて鋼材に左手第四指を挟み負傷。当該作業員は敷地外の事務所に一旦戻ったが、5,6号機救急医療室(敷地内)へ向かう際、サージカルマスクを着用して移動したため、内部取り込みの可能性のあることから、今後、ホールボディカウンタによる測定を実施予定。なお、サージカルマスクおよび身体表面の汚染はなし。

以上